

# 全国ネット通信



## 暑い夏に思う「適応」の重要性

株式会社 損害保険ジャパン 理事 CSR統括部長  
(一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット 運営委員会 委員) 関 正雄



今年の夏は本当に暑かった。「猛暑」、「酷暑」、「炎暑」、どんな言葉を使っても、耐え難いまでのこの暑さを表現しきれない、と感じられるほどの暑さが、全国で、来る日も来る日も続いた。不幸なことに、熱中症の死者も連日報じられた。国民の健康を守るため、気象庁は高温注意情報という新たな注意情報を出すようになったし、メディアも水分補給や、節電でエアコン使用を我慢しきれないようにななど、繰り返し注意・警戒を呼びかけた。

気象メカニズムは複雑だ。今年の異常高温の原因がすべて地球温暖化によるものだとは言い切れない。しかしこうした事態は、多発したゲリラ豪雨も含め、温暖化の帰結として予測されていた現象そのものである。一過性の異変、と片付けてしまうわけにはいかない。来年もそれ以降も、もっと厳しい暑さがくることを想定して、さまざまな本格的な対策を打つ必要を、多くの人が実感した夏だった。

これまで、人々の関心は温暖化の「防止」に向いていた。しかし、もはや現実となった、目の前の温暖化の「影響への対処」を真剣に考え、急がなければならぬ。以前から、温暖化を抑制する「緩和」策と並んで、温暖化してしまった世界に賢く順応する「適応」策が必要で、両者をバランスよく進める必要がある、と言われてきた。しかし、「緩和」策が十分な効果をあげ得ずにいるうちに、注目度の低かった「適応」策の重要性が俄然クローズアップしてきた。一般的には、脆弱な途上国で適応が喫緊の課題と言われてきた。しかし今や世界中の先進国でも洪水、高温、熱波など気候変動への適応が待ったなしになってきた。

手前味噌になるが、実は、損害保険会社は、保険金支払いを通じて自然災害の巨大化・頻発化の傾向を1980年代からつかみ、気候変動への警鐘を鳴らしていた。損保ジャパンが1992年に地球環境部を設置して環境問題にいち早く取り組み始めたのも、それがきっかけだった。

以来、環境リスクをカバーする保険など、環境関連の保険・金融商品、サービスの開発に力を入れてきた。

適応策にはハード・ソフトの整備など技術的な対策をはじめ、社会制度や教育・人材育成まで幅広い対策が必要となる。そのなかで、損害保険制度や防災・リスクマネジメントの普及も、災害に強い社会を目指すうえで不可欠だ。まさに適応策として有効に活用されるべき「人類の知恵」であり、今後はよりその機能が必要とされるようになる。そこで、当社ではこれまでの取り組みに加えて、損保ジャパン環境財団による、保険の「適応」機能を最大限に発揮するための本格的な研究会を今年からスタートさせた。

温室効果ガスの排出削減という、ある意味で単純明快な緩和策に比べ、適応策の特徴は、地域ごとに、生じる影響や必要な対策そして対応能力が異なり、広い分野に及ぶきめ細かい対応が各所で必要となることだ。従って政府主導のトップダウン対策だけでなく、地域づくりのように市民参加やさまざまなセクターの参加・協力が欠かせない。低炭素社会のような、地域での適応の好事例を共有する場の設定も今後必要になるだろう。

もうひとつ、適応に関して必要なのは、企業の課題解決力だ。しかしこの分野での企業の取り組みは、世界的にも緒についたばかりだ。国連気候変動枠組み条約のサイトに、適応分野での民間企業の好取り組み事例集がある。例えば、技術を使った途上国での水不足問題の解決も適応策のひとつだ。損保ジャパンのタイ農村部での干ばつ保険の事例も紹介されている。こうした事例にヒントを得て、ビジネスチャンスとして取り組んでいく企業を増やしていく必要がある。

温暖化防止をあきらめてはいけない。しかし、もはや適応は国内でも海外でも待ったなしだ。重要なのは真剣に考えいち早く手を打つこと。早めの対策は事後の対策よりも必ず、ずっと安くつく。

# ライフスタイルの見直しに！CO2削減・節電のために！

## うちエコ診断申込受付中



うちエコ診断全国事務局（一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット：JNCCA）では、環境省が実施する「うちエコ診断」の、一般家庭の皆様からの申込の受け付けています。

### 診断募集期間

2011年12月末まで

### 申込方法

うちエコ診断地域事務局にお申込みください

### 診断方法

訪問診断、窓口診断、会場診断で行います

※詳しくはうちエコ診断地域事務局にお問合せください。

### うちエコ診断とは？

#### ◆各家庭に合わせた、オーダーメイドの対策を提案します

お住まいの気候やご家庭のライフスタイルに合わせて無理なくできる地球温暖化防止対策をご提案します。

#### ◆うちエコ診断員が診断を行います

地球温暖化問題、省エネ機器、家庭の地球温暖化防止対策の知識を持ったうちエコ診断員が、家庭での温暖化対策のなぜ？どうして？にお答えします。

#### ◆専用ソフトを用いて一目で分かるご説明をします

専用ソフトを用いて、各家庭の年間エネルギー使用量や光熱費、CO2排出量をわかりやすくお見せします。

#### ◆具体的な情報を提供します

すぐに対策を実行できるよう、具体的にどうすればいいの？どこで売っているの？といった質問にお答えします。

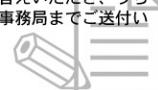
### うちエコ診断のながれ

#### STEP1 事前準備

事前アンケートにお答えいただきます。

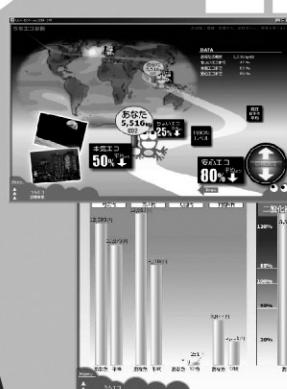
・裏面右下の「うちエコ診断地域事務局」より、診断の日程をお電話またはメールで調整させていただきます。

・受診される方にはあらかじめ、アンケートにお答えいただき、うちエコ診断地域事務局までご送付いただきます。



#### STEP2 うちエコ診断の受診

診断員がオーダーメイドの省エネ対策を提案します。



・JNCCAの認定を受けた、「うちエコ診断員」が診断（1家庭50分程度）を行います。

①診断ソフトを用いて、事前アンケートに基づき、家庭のCO2排出量などをわかりやすくお見せします。

②各家庭に合わせて、オーダーメイドの省CO2・省エネ対策を提案し、CO2削減量や光熱費の節約効果をお示します。

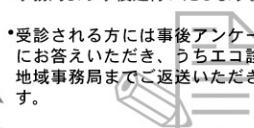
・うちエコ診断に対する満足度調査にご協力いただきます。

#### STEP3 事後調査

事後アンケートにお答えいただきます。

・うちエコ診断を受診した約2ヶ月後に、診断の際に提案いたしました実施状況などをお伺いするためのアンケートを、うちエコ診断地域事務局より事後送付いたします。

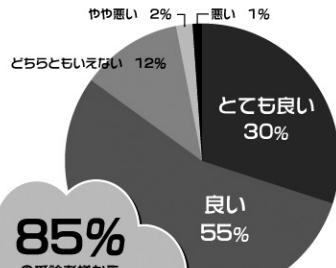
・受診される方には事後アンケートにお答えいただき、うちエコ診断地域事務局までご返送いただきます。



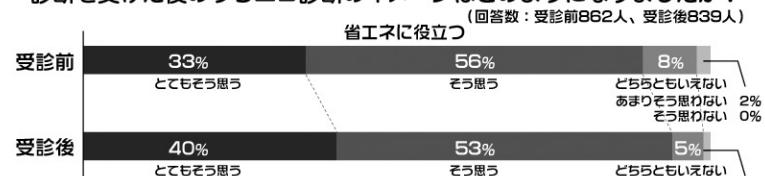
### うちエコ診断は、みなさまに評価いただいているます！

(平成22年度うちエコ診断事業 成果報告書より)

Q 診断員による提案内容はいかがでしたか？  
(回答数：852人)



Q うちエコ診断を知った際の第一印象と  
診断を受けた後のうちエコ診断のイメージはどのようになりましたか？  
(回答数：受診前862人、受診後839人)



診断員の方がこちらの生活スタイル等をしっかり聞いたうえで、アドバイスして下さったので、とても良かったです。

パソコンのデータを目で見ながらお話しで、とても分かりやすく楽しかったです。CO2削減方法がわかりやすかったです。

機器の使用方法および購入の際の留意点など色々とアドバイスを受けて助かりました。また、エコに対して自分の無知さに驚き、診断を受けてよかったです。



(受診者様の声)



(受診者様の声)



(受診者様の声)

お申込み方法やうちエコ診断地域事務局の検索はこちら <http://uchieco-shindan.go.jp>

## 地域センター紹介 熊谷市地球温暖化防止活動推進センター <http://ksccca.kumakanren09.net/>

熊谷市センターは平成22年9月に、熊谷市より地球温暖化防止活動推進センターに指定されました。

日本一暑い町として知られる埼玉県熊谷市ですが、その暑さを逆手にとった地球温暖化防止の活動を行っています。

今回は熊谷市センターも特設コーナーで出展した、熊谷地方気象台主催「あついぞ！熊谷“お天気フェア2011”」における、地球温暖化防止活動推進員をはじめとした地域の指導者主導の活動の様子を中心に、お話をうかがってきました。



▲ 参加者のこども達と一緒に自然エネルギーカードゲームを行う地球温暖化防止活動推進員の方々。当日はテレビ埼玉の取材も受けました！

### あついぞ！熊谷「お天気フェア2011」 2011年8月6日(土)開催

JCCAの体験型貸出教材「自然エネルギーカードゲーム」や「観天望氣カルタ」等活用し、実施しました。夏休みの子供たちを中心に約180名の人たちが参加し、暑い中でしたが、地球のことを考えるひとときになったと思います。

### 栗原 勇 熊谷市センター長に聞きました

昨年センターを立ち上げて、短い準備期間ではあったものの、無事に12月にキックオフイベントを行いました。その連携もあり、多くの団体や人とつながりができました。市内で活動されている29名の地球温暖化防止活動推進員のみなさんの力を借りながら、ローカルならではの活動を今後も盛り立てていきたいと思っています。埼玉県センターと連携しながら、熊谷市民と密着した「草の根活動」をマイペースにしていきたいと考えています。

## 低炭素杯2012 開催決定！～エントリー団体募集中～

低炭素杯2012は、次世代に向けた低炭素な社会を構築するために全国各地で活動を展開している学校・家庭・有志・NPO・企業などの多様な主体が、学び合い連携の輪を広げることを目的に行います。

我々としては、地域連携のひろがり、他のセクターとの連携などそれぞれの取り組みの水平展開を図る基盤形成をより強固にするために「低炭素杯2012」を「低炭素杯2011」に引き続き開催することとしました。

今年は、地域活動、学生活動、企業活動、ソーシャルビジネスの4つの部門でエントリー団体を募集しています。

### 低炭素杯2012 概要

- ◆ 日 程：平成24年2月18日(土) 13:00～19:30(予定)  
2月19日(日) 9:00～15:30(予定)
- ◆ 会 場：東京ビッグサイト（国際会議場ほか）
- ◆ 主 催：低炭素杯2012実行委員会
- ◆ 共 催：株式会社LIXIL  
一般財団法人セブン-イレブン記念財団  
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
- ◆ 特別協力：ブリティッシュ・カウンシル
- ◆ 協 賛：木原木材店
- ◆ 後 援：環境省



▲ プレゼンテーションの様子  
(低炭素杯2011準グランプリ団体「六月田下自治会」)

### ◆低炭素杯2012 当日プログラム (予定)

時 間	2月18日(土)	2月19日(日)
9:00		
10:00		分科会 テーマ1 テーマ2 テーマ3
11:00		
12:00		
13:00	開会	
14:00		特別シンポジウム
15:00	エントリー団体の プレゼンテーション	審査結果発表・表彰式 閉会
16:00		
17:00		
18:00	団体間交流会	
19:00		

### 優れた活動を行う団体、企業に対する表彰

表彰は環境大臣賞としてグランプリ（1団体）、準グランプリ（各部門から各1団体、計4団体）を授与いたします。また、エントリー団体の中から、特別賞として、東日本大震災被災地域貢献活動賞、節電対策貢献活動賞、社会的企業（ソーシャルビジネス）活動賞の授与も予定しています。

各賞受賞団体に対し、イギリス訪問を通して現地環境団体との交流機会の提供の他、各種副賞を予定しています。

エントリーの方法など詳しくはウェブサイトをごらんください

<http://www.zenkoku-net.org/teitansohai2012/>

低炭素杯 検索

# 節電く節エネ＝節CO2 家庭ですぐ出来る冬の取り組み21を発表しました

東日本大震災に伴う電力不足に対応するため、地球温暖化防止のための「節電く節エネ＝節CO2～家庭ですぐ出来る冬の取り組み21～」を公開しています。

暖房利用が高まる冬。エアコンの暖房利用などを抑える「節電」の代わりに、ガスストーブや灯油ストーブ等の暖房機器を使う…ではなく、節電を節エネの一部として捉え、電気のみならずエネルギー全体の消費を抑えることによる「節CO2ライフスタイル」への転換を提案しています。

## 家庭ですぐ出来る冬の取り組み21

対象	分野	取り組み
全般	断熱など	1. 窓に空気層のある断熱シートを貼る 2. 暖房時にカーテンやブラインドを閉める 3. 床に断熱シートやカーペットを敷く 4. すき間テープなどを活用してすき間風を防ぐ
		5. 重ね着などによりあたたかくする 6. 湯たんぽ、ひざかけなどを活用する
		7. 寒冷地以外の地域では、ストーブやファンヒーターではなくエアコン暖房を活用する 8. 室温を低めにし、こたつや電気カーペットなど効率のよい部分暖房を活用する。 9. 暖房時に部屋のドアやふすまを閉め、暖房範囲を小さくする
		10. 暖房の温度設定を控えめ(目安は20°C)にする 11. 扇風機などを使い、天井付近の温かい空気を室内に循環させる 12. 暖房の使用時間を可能なかぎり短くする(外出30分前に消すなど)
	照明	13. 照明を使う時間を可能なかぎり短くする
	テレビ	14. テレビを見る時間を少なくする(つけっぱなしにしない、見る番組をしぼる)
台所	保温	15. 電気ポットや炊飯ジャーの保温をやめる
	炊事	16. 圧力鍋などの活用により調理時間を短くする 17. 食器洗いでお湯を出しちゃしないにしない
	お風呂	18. 節水シャワーヘッドを取り付け、使うお湯の量を減らす 19. 家族が続けて入り、風呂の追い炊きをしない
トイレ	便座	20. 保温便座の温度設定を下げ、使わないときには保温便座のふたを閉める
外出	車	21. エコドライブを実践する

- 冬期における対策を中心としています。
- 電力だけでなく総合的にエネルギーを抑えることを主目的としています。
- 家庭の二酸化炭素の排出割合を元に作成しています。
- 家の中の熱を逃がさない対策のほか、効果の高い対策を加えています。
- 極度のがまんをせず、継続的に取り組める項目を中心としています。
- 改築やリフォームなどの高い投資をせずに取り組める項目を選定しています。

## 編集後記

すっかり秋の空に入れ替わり、天高く〇〇肥ゆる秋となっていました。この秋空のもと、9月のシルバーウィークに川崎市等々力競技場で行われたCC等々力エコ暮らしこフェア（主催：川崎市・川崎フロンターレほか）に出展してきました。全国ネットでは、「エネルギーのかばん」等の支援ツールや「うちエコ診断」のプレゼンを行いました。当日は川崎フロンターレと清水エスパルスとの試合もあり、小さなお子さんからお爺ちゃんお婆ちゃんまで大盛況でした。これから秋冬に向かってますます家庭での省エネが重要になってきますが、無理せずできることからはじめましょう。

事業グループ長 川原 博満



## 編集・発行

一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット

〒101-0053 東京都千代田区神田美士代町9-17 神田第三中央ビル5F  
TEL. 03-6273-7785 FAX. 03-5280-8100 WEB. <http://www.zenkoku-net.org/>

## 貸出教材をご活用ください

全国ネットでは、地球温暖化についてわかりやすく伝え、地球温暖化防止に向けた行動への一步を踏み出すためのきっかけとなる参加型の学習教材「活動プログラム」等のツール教材の貸出を行っています。

- 貸出物：パネルセット29種類、タペストリー9種類、紙しばい、ゲーム、DVDなど
- 貸出料金：原則2週間まで
- 料金：無料（送料のみご負担ください）

NEW!

イベントや学習会の導入部分などで使える、短時間で「気づき」のきっかけになるツールはありませんか？という声にお応えして、ハンディサイズのホワイトボードを使うゲーム形式のツール教材を開発しました！

他のツールと組み合わせてぜひご活用ください。

### E06 「エコロモならべ」

「エコ」な「コロモ(衣)」の着方って？衣類の調整で体感温度を上げ、暖房機器に頼りすぎない冬の過ごし方に興味を持ってもらい、過度なエネルギー消費を抑えることを促すツールです。



### E07 「暖冷たべものゲーム」

体を温める食べ物は？冷やす食べ物は？暮らしの中で感じる気温の変化を冷暖房を使って調整するだけではなく、体の中から調整することを促すツールです。



### エコアナウンサー

## 櫻田彩子のミニコラム

櫻田 彩子 プロフィール  
Sakurada Ayako Profile

宮城県出身のエコアナウンサー。  
テレビ朝日「ちい散步」レポーターほか、  
低炭素杯2011での司会・進行など。



### 節電、お疲れ様です！

今夏は、皆さんの節電への努力と工夫に脱帽でした。私達、頑張りましたね。拍手！我が家でも震災後は『電気使用量のお知らせ』とにらめっこ。その甲斐あり、今夏6・7・8月の電気料金合計は昨夏より12,049円減！やった！

節約したお金は旅行費用に。鹿児島県の六月田下自治会の皆さんのアイディアを早速マネさせていただきました（笑）。

震災後の節電は、暮らしを見直す大きなきっかけでした。

エアコンによる冷え症という矛盾に悩み、まぶしいほどの照明で夜を過ごすより、被災地に思いを馳せながら必要なエネルギーで暮らす自身の選択に豊かさを見出している方も多いのではないかでしょうか。

右肩上がりに給料が増える時代ではありませんでした。お金やモノが豊かな暮らしの指標とされる時代は終わろうとしています。

これまで報酬と言えばお金の事でしたが、地域社会や家族への貢献がもたらす喜びややりがいが、私達の心への報酬となるのではないでしょか。なんといっても節CO2は世界への貢献になります。

個人や家庭という最も小さな経営体の在り方を見つめ直すことで、未来を選択することが出来るのではないかと感じています。

◀写真：節電で節約出来たお金（一部）で出かけた旅「奥飛騨の平湯大滝」です。全国各地猛暑日だったこの日は奥飛騨の山の上は15°Cで、20度も気温差がありました。マイナスイオンたっぷりの滝霧を浴びてきました！

一般社団法人地球温暖化防止全国ネットの活動をサポートしてください！

年会費：個人会員1口 5,000円（1口以上） 団体会員1口 20,000円（1口以上）

